

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分  
 【発行日】平成 27 年 3 月 19 日 (2015.3.19)

【公開番号】特開 2013-176945 (P2013-176945A)  
 【公開日】平成 25 年 9 月 9 日 (2013.9.9)  
 【年通号数】公開・登録公報 2013-049  
 【出願番号】特願 2012-43149 (P2012-43149)  
 【国際特許分類】

**B 4 1 J 2/175 (2006.01)**

**B 4 1 J 2/01 (2006.01)**

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 2 Z

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

【手続補正書】  
 【提出日】平成 27 年 2 月 3 日 (2015.2.3)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

インクを吐出する記録ヘッドを備え所定の方向に移動可能なヘッドユニットと、  
前記ヘッドユニットに搭載され、前記インクを前記記録ヘッドに供給するアダプターと

—

前記ヘッドユニットを収容する記録ユニットと、  
 前記記録ユニットの外側に設けられるインクタンクと、  
 インクが収容されたインク収容部から送られるインクを前記記録ヘッドへと導き、前記  
 ヘッドユニットの前記移動に伴って U 字反転部を介して追従変形する変形可動部を有する  
 インクチューブと、  
 前記記録ユニットの側面に設けられ、前記インクチューブに前記アダプターと前記イン  
クタンクとが接続された状態で該インクチューブを取り外し可能に受け入れるチューブ用  
貫通部と、を備える記録装置。

【請求項 2】  
 請求項 1 に記載された記録装置において、  
 前記チューブ用貫通部は、前記インクチューブの前記取り外しを可能にする構造として  
 、前記側面の端部に連なる連通部を備える、ことを特徴とする記録装置。

【請求項 3】  
 請求項 2 に記載された記録装置において、  
 前記連通部は、前記チューブ用貫通部よりも幅狭に形成されている、ことを特徴とする  
 記録装置。

【請求項 4】  
 請求項 3 に記載された記録装置において、  
 前記連通部の幅は、前記インクチューブが該インクチューブの弾性変形を利用して通過  
 可能なサイズに形成されている、ことを特徴とする記録装置。

【請求項 5】  
 請求項 2 又は 3 に記載された記録装置において、  
 前記連通部は、開閉自在なカバーを備えている、ことを特徴とする記録装置。

**【請求項 6】**

請求項 1 に記載された記録装置において、

前記チューブ用貫通部は、該チューブ用貫通部に開閉自在なカバーを備え、該カバーの開閉によってインクチューブの取り外し可能状態と取り外し不能状態とが切り換わる構成である、ことを特徴とする記録装置。

**【請求項 7】**

請求項 5 又は 6 に記載された記録装置において、

前記カバーは、前記記録ユニットの前記側面と同色且つ当該側面と面一に形成されている、ことを特徴とする記録装置。

**【請求項 8】**

請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載された記録装置において、

前記インクタンクは前記記録ユニットの側面の外面に着脱可能に装着され、

前記インクチューブの前記チューブ用貫通部から外部に出ている部分を、前記インクタンクの前記装着状態において収容するチューブ収容部を備えている、ことを特徴とする記録装置。

**【請求項 9】**

請求項 8 に記載された記録装置において、

前記チューブ収容部は、前記装着状態の前記インクタンク外面と前記記録ユニットの側面の外面との間に設けられている、ことを特徴とする記録装置。

**【請求項 10】**

請求項 9 に記載された記録装置において、

前記インクチューブの前記インクタンクとの接続部は該インクタンクの下部に位置し、

前記インクチューブは、前記記録ユニットの前記側面の内面に沿って上方に延設され、前記チューブ用貫通部を通して外部に出て、下方に延びて前記接続部に接続されている、ことを特徴とする記録装置。

**【請求項 11】**

請求項 10 に記載された記録装置において、

前記インクチューブは、前記変形可動部の可動側端部から前記チューブ用貫通部までの延設部にインクチューブの抜け止め構造部を備え、該抜け止め構造部が着脱可能に前記記録ユニットの内部に取り付けられていることを特徴とする記録装置。

**【請求項 12】**

請求項 5 から 7 のいずれか一項に記載された記録装置において、

前記カバーはネジ締結用の第 1 締結部を備え、

前記記録ユニットの側面はネジ締結用の第 2 締結部を備え、

前記カバーは、前記第 1 締結部と第 2 締結部をネジで締結することで前記記録ユニットに固定され、ネジ締結を外すことで前記記録ユニットから取り外せる、ことを特徴とする記録装置。

**【請求項 13】**

請求項 12 に記載された記録装置において、

前記第 1 締結部は前記カバーの天板部の下面に突設され、

前記第 2 締結部は前記記録ユニットの側面であって前記第 1 締結部と対応する位置に設けられ、

前記ネジ締結部分は前記カバーの下側に位置する、ことを特徴とする記録装置。

**【請求項 14】**

請求項 5 から 7 のいずれか一項に記載された記録装置において、

前記カバーは係合用の係合爪部を備え、

前記記録ユニットの側面は係合用の係合受部を備え、

前記カバーは、前記係合爪部を係合受部に係合することで前記記録ユニットに固定され

、前記係合を外すことで前記記録ユニットから取り外せる、ことを特徴とする記録装置。

【請求項 15】

請求項 14 に記載された記録装置において、

前記係合爪部は前記カバーの天板部の下面に突設され、

前記係合受部は前記記録ユニットの側面であって前記係合爪部と対応する位置に設けられ、

前記係合部分は前記カバーの下側に位置する、ことを特徴とする記録装置。

【請求項 16】

請求項 1 から請求項 15 のいずれか一項に記載された記録装置において、

前記記録ユニットは、装置外郭をなすハウジングであることを特徴とする記録装置。